

令和5年度 オーストラリア語学研修

令和6年1月5日（金）から15日（月）までの約10日間、2年生4名がオーストラリア語学研修に参加しました。

◆ホストファミリーとの出会い

期待と緊張の中、ホストファミリーは笑顔で迎えてくれました。週末はホストファミリーとともに教会やビーチを訪れたり、クッキングやショッピングを楽しんだり、それぞれの休日を満喫しました。



◆スタディーセンターでのプログラム

英語を使ったゲームでのウォーミングアップに始まり、オーストラリアの文化やライフスタイルについて学びました。昼食は、ホストファミリーが持たせてくれたお弁当を堪能しました。

少しずつ英語に慣れてきたことで、2日目のプログラムでは、先生からの質問に英語で返答したり、生徒同士でも英語で会話をしたりと、積極的にコミュニケーションをとることができるようになりました。また、オーストラリアの貨幣について学び、買い物のシミュレーションをすることで、翌日はショッピングモールで買い物をすることもできました。



◆日本人ビジネスパーソンによる講演

授業の中では、現地で働く日本人の方の講演もありました。その方は、ピアニストを目指してオーストラリアに移住後、日本語教師やガイドを務めながら法律を勉強し、現在は弁護士として活躍。その経歴に生徒は大きな刺激を受けました。講演後の質疑応答で生徒が積極的に手を挙げたことは言うまでもありません。



◆ボンド大学訪問

ボンド大学のキャンパスツアーでは、案内してくれた現役の大学生と接し、さまざまな話を聞くことで、自分の進路や将来について考える貴重な時間を過ごすことができました。



◆現地学生との交流

スタディセンターでの英語クラス最終日。午前中はオーストラリアの農業や気候変動、環境保護問題などについて学びました。学生たちと楽しむランチも、これが最後。おいしい食べ物を囲みながら楽しい会話で盛り上がりました。

午後からは、現地の小学生から大学生までが集まり、クイズ大会やグループアクティビティで交流を深めました。臆することなく英語でコミュニケーションをとり、笑顔で過ごす1日になりました。



◆カランビン野生動物公園訪問

オーストラリア固有の野生動物と触れあうことができる「カランビン野生動物公園」。現地の学生と一緒に動物のかわいらしさに喜び、先住民アボリジニのダンスに驚き、最後まで楽しく学んだ短期留学でした。



◆ホストファミリーとのお別れ

お世話になったホストファミリーと過ごす最後の週末。約10日間という、短くも濃厚な時間を過ごした生徒たち。あたたかく迎えてくれたホストファミリーの優しさに感謝し、再会を約束して別れを告げました。

◆成田空港到着

ブリスベン空港出発後、約8時間のフライトを経て、全員元気に帰国しました。日本に戻った安心感とオーストラリアを離れた寂しさを感じながら、旅の余韻に浸る生徒たち。成田空港のホテルでは、今回の留学に関わってくれた多くの人への感謝の思いや、他国に行ったからこそ気づいた日本の素晴らしさについて語り合いました。

